



今と昔がわかる道具のうつりかわり図鑑①

カルチャー・プロ

私たちの身の回りにある道具がどのように変化してきたかを年表で紹介。道具の成り立ちや作り方、秘密などがわかります。

(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)

[時間] 10時～16時30分 [休館日] 木曜日、祝日

みずうみ読書の家(☎ 76-2100(あぶた読書の家))

[時間] 9時～17時 [休館日] 木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)

[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

あぶた読書の家

△一般▽今日もぼーっと行ってきます(中島京子)

▽あなたの命綱(久坂部羊)

▽暗黒の彼方(堂場瞬一)▽ちよっと角の酒場まで(角田光代)▽教場Ω刑事・風間公親(長岡弘樹)▽チップス(上・下)(真山仁)▽DANGER(村山由佳)▽涯しない影に(赤川次郎)▽言問ラプソディ(小野寺史宣)

△**児童書**▽ノラネコぐんだん(こんにちは(工藤ノリコ)▽なつやすみ(麻生知子)▽シヨベルカー(ごあんぜんに!)(はっとりひろき)▽ふわりさんのパンやさん(宮野聡子)▽めいちゃんのまほうのクッキー(かなざわまゆこ)▽ベとんずかん(しげお)▽わかつたさんのマシユマロ(永井郁子)▽私立探検家学園7(落日のフロンティア(斉藤倫)▽【児童版】十年屋8(黄昏時のお客様(斉藤倫))

洞爺総合センター図書室

△**一般**▽謎の香りはパ

ン屋から2(土屋うさぎ)▽コズミック・ガール(宙わたる教室(伊与原新)▽燻る骨の香り(千早茜)▽ドロップぼろぼろ(中前結花)▽ノスタルジア(島本理生)

△**児童書**▽パンダのおさじとぱんだっちゃん(柴田ケイコ)▽くいしんぼうたんていビヤームス(山本和子)▽おぼけのそごから(内田麟太郎)▽空から見る(日本

の名所えほん(PHP研究所)▽「ぼくは鬼がこわいと思ひました。」主人公自ら語る童話集(クゲユウジ)

● **絵本の玉手箱 6月のおはなし会**

■日時 ①6月23日(火)10時～11時30分 ②6月19日(金)14時～15時30分

■場所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家

● **キッズタイム**

■日時 6月20日(土)10時～11時30分

■場所 あぶた母と子の館

■対象 乳幼児および保護者

■問合せ 佐藤(☎ 76-2487)

● **ピノキオ読み聞かせの会**

■日時 6月18日(木)14時20分～14時50分

■場所 虻田小学校図書室

■問合せ 松本(☎ 76-2613)

地域おこし協力隊



通信

vol.96

今月の
リポーター
亀田 昇吾さん



地域おこし協力隊として洞爺湖町に就任して丸2年が過ぎ、いよいよ3年目に突入しました。

私は現在「空家等の管理活用支援」を行っていて、昨年度は室蘭工業大学の学生と空家実態調査を実施しました。今後も空家対策を足がかりに、洞爺湖町のまちづくりに関わっていきたくと考えています。

今回は、日々の活動を通じて感じている「まちの未来を守るための視点」を共有したいと思います。

近年、道内では海外の方などが土地や建物を購入するケースが増えています。新たな活用は歓迎する一方で、「値上がり期待」だけで買われ放置される危険性も潜んでいます。

また、近隣自治体のよう

に外部から急激な買い占めが進むと、地価や物価が高騰し地元の人たちが住みづらくなる現象(ジェントリフィケーション)が起きる恐れもあります。さらに、投機的な投資や外資にばかりお金が使われる観光形態のように、地域の資産を「消費」するばかりで、環境保全やインフラ維持などの負担を地域に還元しない状態が続けば、美しい洞爺湖の持続可能性そのものが危ぶまれます。

大切な資産を手放すとき、「誰に、どう使われるのか」を少し立ち止まって考えることが、洞爺湖の環境と私たちの暮らしを守る第一歩になります。誰もが安心して住み続けられる町にするため、今後も共に考えていければ幸いです。